

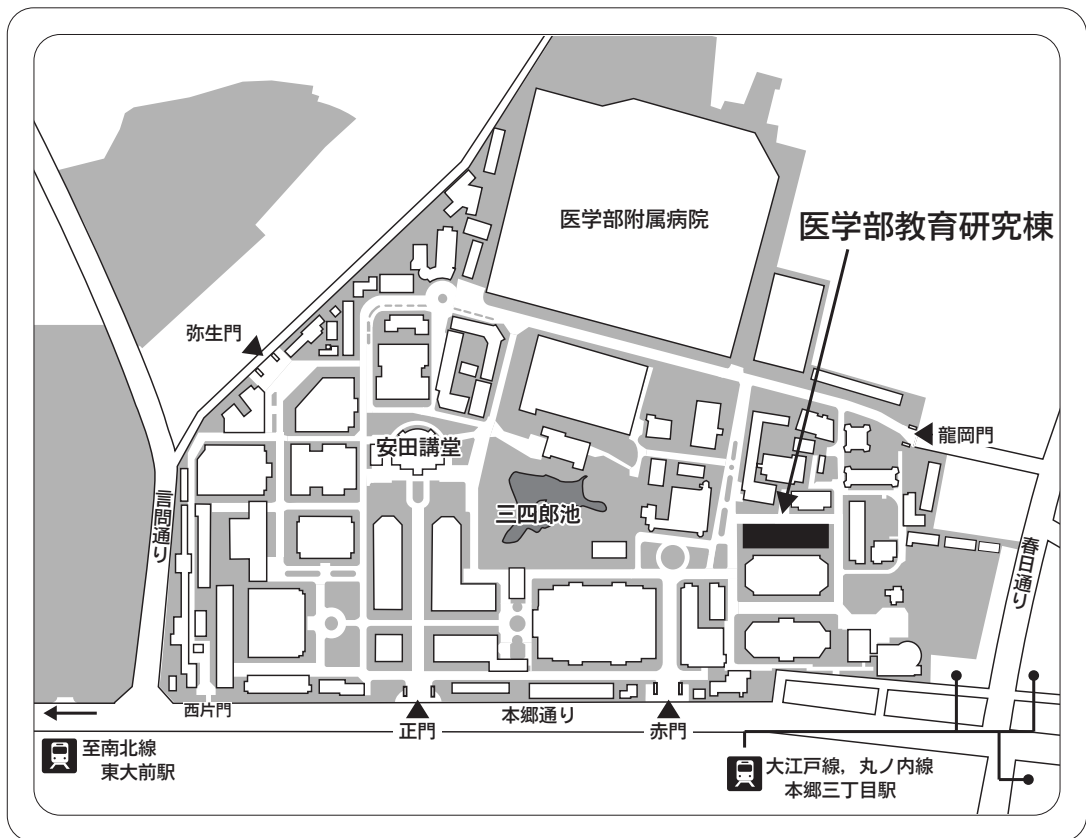
# 第 558 回

## 日本小児科学会東京都地方会講話会

### プログラム

日 時 平成 20 年 7 月 5 日 (土) 午後 2 時 00 分

場 所 東京大学鉄門記念講堂(医学部教育研究棟14階)



#### 演題の申し込みについて

1. 講話会の当日、文書で提出、もしくは e-mail で事務局宛送ってください。
2. 抄録 (160字以内) をおつけください。
3. 原則として指定発言をつけてください。
4. 演者、指定発言者は、当日二次抄録 (200字以内) を提出してください。(日本小児科学会誌掲載の為)

#### 世話人

プログラム係 舟塚 真  
東京女子医科大学 小児科 03 (3353) 8 1 1 1  
FAX 03 (5269) 7 3 3 8

#### 会場係

岡 明  
東京大学小児科 03 (3815) 5 4 1 1 内線 3 3 4 5 3  
直通 (FAX) 03 (3816) 4 1 0 8

#### 事務局

03 (5388) 7 0 0 7  
e-mail: jps-tokyo@umin.ac.jp

# 第 558 回 日本小児科学会東京都地方会講話会演題

(1 題 6 分, 指定発言 5 分, 追加討論 3 分以内, 厳守のこと。○印演者)

## 第 1 グループ 14:00—14:35

座長 森 蘭子 (森こどもクリニック)

### 1) 「熱性けいれん」に関する病状説明の現状

○酒井 理恵, 丸井 英二 (順天堂大学公衆衛生学教室)  
奥村 彰久, 清水 俊明 ( 同 小児科・思春期科)  
日本小児科学会東京都地方会

日本小児科学会東京都地方会の会員を対象に, 1) 熱性けいれん (FS) の有病率, 2) 再発率, 3) てんかん発症の確立, 4) 薬剤の予防投与, 5) 解熱剤の使用, 6) 救急車の要請, 7) ガイドライン, について質問紙調査を実施した。有効回答 482 (回収率 25.8%) であった。FS の病状説明を考える上で有用と思われるため報告する。

### 2) 急性副鼻腔炎後に硬膜下膿瘍を認めた 1 症例

○田口 洋祐, 波照間友基, 新谷 榮崇, 蘇我 孟志,  
吉田 彩子, 鈴木 潤一, 齋藤 宏, 和田 美夏,  
浦上 達彦, 高橋 昌里, 麦島 秀雄 (駿河台日本大学病院小児科)  
樋口 雄将, 矢田修一郎, 工藤 逸大, 牧山 清, 池田 稔 ( 同 耳鼻咽喉科)  
石原隆太郎, 福島 匡道, 吉野 篤緒 ( 同 脳神経外科)

症例は 13 歳男子。入院 11 日前から頭痛を認めた。入院 3 日前に化膿性髄膜炎と診断され前医に入院し, 改善を認めず当院へ転院した。急性副鼻腔炎からの硬膜下膿瘍, 脳髄膜炎と診断し, 膿瘍排膿術と膿瘍摘出術を施行した。副鼻腔炎は日常よく見る疾患であるが, 持続性の頭痛や中枢神経症状を認めた時は頭蓋内合併症を考慮するべきである。

### 3) ロタウイルス胃腸炎に急性腎不全を合併した 1 例

○安井 直子, 北岡照一郎, 小穴 慎二, 阪井 裕一 (国立成育医療センター総合診療部)  
亀井 宏一 ( 同 腎臓科)

症例は 2 歳男児。ロタウイルス胃腸炎, 脱水の診断で入院。入院翌日より, 尿量減少と全身性浮腫が出現し BUN 22 mg/dl, Cr 1.0 mg/dl と腎機能低下を認めた。脱水による腎前性腎不全が疑われたが, 腹部超音波所見, 利尿剤投与と導尿により速やかに腎不全症状が軽快した点から腎後性腎不全が疑われた。文献の考察を加え報告する。

指定発言 亀井 宏一 (国立成育医療センター腎臓科)

第2グループ 14:35—15:25

座長 武藤 順子（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）

4) 巨大莓状血管腫に、肺高血圧、心不全を合併した1例

○中村 隆広, 宮下 理夫, 福原 淳示, 市川 理恵,  
松村 昌治, 金丸 浩, 唐澤 賢祐, 鮎沢 衛,  
住友 直方, 岡田 知雄, 麦島 秀雄（日本大学附属板橋病院小児科）  
磯野 伸雄, 佐々木健司（日本大学形成外科学系形成外科学分野）

在胎25週0日、453gで出生した。日齢9から左肩の血管腫が出現し8×6cmに増大した。生後7カ月で退院したが肺高血圧、心不全で再入院した。慢性肺疾患は軽度であった。巨大血管腫が心不全の主な原因と考え、プレドニン療法を行った後に、外科的に切除した。現在、利尿薬、ポセントン、在宅酸素療法で良好に経過している。

指定発言 越智 正和（日本大学形成外科学系形成外科学分野）

5) 塩酸イソプロテレノール内服にて新生児期管理に成功した胎児期発症完全房室ブロックの1例

○伊藤 淳, 石黒 秋生, 橋本 立子, 上原 佳美,  
井上 毅信, 松岡 貴子, 西村 力, 五石 圭司,  
豊田 彰史, 小野 博, 香取 竜生, 五十嵐 隆（東京大学附属病院小児科）  
小松 篤史, 山下 隆博, 亀井 良政, 上妻 志郎（同 女性診療科産科）

新生児ループスの予後規定因子である心伝導障害は、早期にペースメーカー管理を要する 경우가多いが、遠隔期にDCMを来すという報告もあり導入は慎重にならざるを得ない。今回我々は無症候性Sjögren症候群の母から産まれた完全房室ブロックの児に、β刺激薬内服で心拍数を管理し、早期ペースメーカー導入を回避した1例を経験したので報告する。

6) RSウイルス感染を契機に発見された神経芽腫の1例

○泉 陽一, 志賀 勝秋, 疋田 敏之, 中村こずえ, 柳川 幸重（帝京大学附属病院小児科）  
福島 純一（同 病理学教室）

症例は生後1カ月の男児。喘鳴と体重増加不良を主訴に入院。その後呼吸困難が出現し人工呼吸管理となった。RSVによる細気管支炎と診断した。呼吸困難が持続したため精査したところ頸部CTで右頸部に3.2×2.6cmの腫瘤が認められた。病理検査にて神経芽腫と診断した。稀な症例のため文献的考察を含め報告する。

指定発言 川崎 一輝（国立成育医療センター呼吸器科）

7) 高インスリン血性低血糖症を合併したCostello症候群の1例

○岡野恵里香, 山岡 正慶, 神野 聡子, 河野 淳子,  
長島 達郎, 寺本 知史, 小林 正久, 井田 博幸（東京慈恵会医科大学小児科）

遷延性低血糖症を合併したCostello症候群の1例を経験した。在胎37週1日、3,927gにて出生。出生時、グルコース濃度感度以下、血中インスリン濃度12.5μU/mlと高値で、高インスリン血性低血糖と診断し、hydrocortisone、グルコース投与開始した。臨床経過について文献的考察を含め報告する。

休 憩 15:25—15:35

感染症だより 15:35—15:45

座長 山本 光興（山本小児科）

谷口 清洲（国立感染症研究所感染症情報センター）

教育講演 15:45—16:25

座長 鎌形正一郎（東京都立清瀬小児病院外科）

子どもの急性腹症 — 外科的疾患を見逃さないために —

横路征太郎（東京都立府中病院小児科）

腹痛、嘔吐、下痢などの症状を主訴として救急受診する子どもの数は多い。大多数は胃腸炎、ウイルス感染などの内科的疾患であるが、その中の一部には虫垂炎、腸重積、腸閉塞などの外科的疾患も含まれている。最初に外科的疾患なのか内科的疾患なのかを選別するのは小児科医の役割であるが、ありふれた主訴の中からの確に外科的疾患を選び出すことは至難の業である。今回は一般小児科医の立場から反省も含めそのポイントについて述べる。

第3グループ 16:25—17:10

座長 小峯 聡（東京都立府中療育センター小児科）

8) てんかんに疑われ、終夜睡眠ポリグラフィから睡眠時遊行症と診断された幼児例

○西川 愛子，伊藤 康，衛藤 薫，田宮さやか，  
佐藤 孝俊，今井 薫，粟屋 豊，大澤真木子（東京女子医科大学小児科）

3歳8カ月の男児。1カ月前に熱性けいれん発症後から、無熱性けいれん及び睡眠中に突然歩き出す、自動症様異常行動を反復し、てんかんに疑われ当科紹介された。終夜睡眠ポリグラフィでは深睡眠期に同エピソードが生じ、てんかん性異常波の出現は認めなかった。母親にも同様の既往あり、本人の心理的問題の存在も合わせ、睡眠時遊行症の診断に至った。

9) 急性腹症で来院した先天性腸間膜欠損による内ヘルニアの1手術例

○松岡 正樹，池原 聡，佐藤 真理，松裏 裕行，  
小原 明，佐地 勉（東邦大学医療センター大森病院小児科）  
柴田祐充子，岩崎維和夫，中村 博志，渡邊 聖（同 小児外科）

14歳男子。急激な心窩部痛にて夜中に覚醒し救急外来を受診。腹部X線、niveau像なく画像で虫垂は描出されなかった。補液、抗菌薬投与を開始したが腹痛がさらに増強し、発症15時間後に、機械性イレウスの診断で開腹術に踏みきった。その結果、腸間膜部分欠損による内ヘルニアが確認された。壊死腸管を切除し術後の経過は良好であった。

## 10) 先天性胆道拡張症 12 例の臨床的検討

○浦田 純, 水野 葉子, 小高 学, 柳原 知子, 和気 彰子,  
榑原 裕史, 松岡 典子, 小鍛治雅之, 寺川 敏郎, 横路征太郎 (東京都立府中病院小児科)  
廣部 誠一, 鎌形正一郎 (東京都立清瀬小児病院外科)

先天性胆道拡張症はまれな疾患であるが、胆道穿孔や胆管炎等の合併症も報告されており早期診断が望まれる。今回、当院で経験した 12 例の臨床症状、検査所見について検討した。12 例中 8 例で腹痛または嘔吐の症状を認め、可視的黄疸は 5 例で認められた。また 12 例中 10 例で Bil 上昇, AST/ALT 上昇, Amy 上昇などの血液検査異常を認めた。

指定発言 松井 陽 (国立成育医療センター)

## 11) 家族性腺腫性ポリポシスの 1 例

○中村明日香, 青柳 陽, 藤井 徹, 及川 奈央,  
安部 信平, 染谷朋之介, 春名 英典, 和田万里子,  
鈴木 竜洋, 大塚 宜一, 清水 俊明 (順天堂大学小児科)

腹痛, 下痢, 血便を主訴に内視鏡検査にて家族性腺腫性ポリポシス (FAP) と診断した 10 歳男児。家族歴に腸疾患はない。内視鏡検査にて大腸全域にポリポシスを, 病理検査で管状腺腫を認めた。FAP は 30 %で家族歴はないとされ, 高率に癌化するため, 定期的な内視鏡検査, 最終的には大腸切除が必要である。文献学的考察も含め報告する。

## 運営委員会だより

1. 6 月の講話会出席者 230 名, 新入会員 10 名 (会員数 1,829 名)。またベビーシッター室の使用が 12 名と, 多くの方にご利用いただきました。
2. 発表の中で動画の使用のご希望が毎月あり, 今後, それに沿うように努力していく方針といたしました。しかし, 動画発表がうまく作動しないトラブルはしばしばありますので, 発表者の方をお願いする点を事前に御連絡することとしますので, ご協力をお願いします。
3. 今年度の教育講演は「小児科診断の update」をテーマとして行います。次回 9 月は「子どもの皮疹」をテーマに, 皮膚科医からの視点でお話をいただきますので, 是非ご参加ください。

## 【演題の申し込みについてのお願い】

- 原則として指定発言をつけて下さい。

## 【会員登録事項の変更届についてのお願い】

- 自宅, 勤務先の住所 (プログラム送付先) 等の変更または, 改姓があった場合は, 速やかに東京都地方会事務局までご連絡下さい。登録事項変更届出用紙をご送付いたします。
- 退会される場合も必ずご連絡ください。そのお届けがない場合は次年度も継続として年会費の請求を致します。

東京都地方会事務局 TEL: 03 (5388) 7007/FAX: 03 (5388) 5193

## 地方会ホームページのお知らせ

更新しております。是非アクセスしてみてください。

URL: <http://plaza.umin.ac.jp/jpstokyo/>

## Presentation について

発表は Computer Presentation (Windows) のみで受け付けます。Powerpoint 2000 以上で作成、Font 文字は Powerpoint 備え付けのみ。CD-R もしくは USB メモリーにて、第 1、2 グループ発表者は午後 1 時 30 分までに、第 3 グループ以降の発表者は午後 3 時までにはスライド受付まで持参して下さい。機器操作は、当方で行います。あらかじめウイルス check をお願いいたします。

※ Vista には未対応です。

## 〈ベビーシッタールーム開設のお知らせ〉

乳幼児を同伴される方のために、ベビーシッタールームを開設します。利用ご希望の方は、利用日の 1 週間前までに事務局へお申し込み下さい。申し込みの際、お預けになるお子様の氏名・年齢・性別・及び預けられる時間帯を伺います。利用当日、お子様が好きな食べもの・飲料・おもちゃ・着替え・おむつなどに名前を付けてご持参下さい。また申し込み受付後、問診票に記載していただきますことをご了承下さい。キャンセルされる場合は、3 日前までにご連絡をお願いします。なお費用は学会が負担いたします。

日本小児科学会東京都地方会事務局 TEL 03-5388-7007/FAX 03-5388-5193

## 演者の先生方へのお願い

一次抄録は 160 字以内に。また、二次抄録は日本小児科学会雑誌に掲載されますので規定の 200 字以内を厳守くださるようお願いいたします。(原稿は活字もしくはワープロ文字で)

出席した会員に発表の意味をより強く、明確に伝えるために、最後(または適切な時期に) Take Home Message (この発表から学ぶこと) を手短な一文で記したスライドを付け加えて頂くようお願いいたします。

WAKODO

薬価基準収載

## 経皮吸収型・気管支拡張剤

指定医薬品、処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

**セキナリン<sup>®</sup>テープ** 0.5mg  
1mg  
2mg  
**SEKINARIN<sup>®</sup> TAPE**

## ツロブテロール経皮吸収型製剤

- 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

資料請求先

発売元 **和光堂株式会社**

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-14-3

製造販売元



**ジェイドルフ製薬株式会社**

〒528-0211 滋賀県甲賀市土山町北土山2739

06.07

